

WCDN第9回国際キリスト教医学学会
医学資料を通して聖書にあるような奇蹟を認証する医師たち
支教会7月スケジュール

あなたの信じたとおりになるように
百人隊長はイエス様を完全に信じ、魂を真実に愛する心を持っていたので、時間と空間を超えたみわざを体験することができた。今日も現れている神の力あるわざを紹介する。

神の力を体験した医師たちの告白
5月25-26日、ケニアで開かれたWCDN(世界キリスト教医師ネットワーク)主催の第9回国際キリスト教医学学会(テーマ:霊性と医学)のレポート。

万民ニュース

第116号 2012. 6. 24.
MANMIN NEWS
TEL: 82-2-818-7042
www.manmin.org/Japanese

37か国の医師たち、一堂に会して霊性と医学を語る WCDN第9回国際キリスト教医学学会、ケニアのナイロビで開催



ケニアで開催された第9回WCDN国際キリスト教医学学会には37か国から400人余りが参加した。神の生きて働かれることを示す8つのいやし事例発表と多様な特別講演は、医学の知識の枠を打ち砕いて信仰を植えた。

今年5月25-26日、WCDN(世界キリスト教医師ネットワーク)主催の「第9回国際キリスト教医学学会」がナイロビのサファリパークホテルで開催された。

25日、37か国から400人余りの医師が参加、「霊性と医学」というテーマで学会が始まった。WCDN理事長イ・ジェロク牧師は「神のいやしのみわざを通して、広くイエス・キリストの愛を伝える医師になっていただきたい」というビデオメッセージを伝えた。

続いて会長チェ・ユンソク博士は開会の辞でWCDN設立の背景とビジョンを述べた。今回の学会組織委員長、チッポラ・ングミ博士は「ここでは病人が処方箋をもらっても薬を求めにくいのですが、医師が信仰で祈ってあげれば、信仰も植えつけられて、好転する場合があります」と、キリスト教医師の役割の重要性を明らかにした。

本教会の副総会長チョン・グヨン牧師は基調講演で「神を愛する証拠は戒めをすべて守ること。このように聖なる生き方をするとき、神からの祝福をこの地上でだけでなく後の世まで受けられる」と医師の霊性を呼び覚ました。

今回の学会では、イ・ジェロク牧師の直接の祈りと、同牧師が祈って神の力が込められたハンカチ(使徒19:11-12)で祈りを受けていやされた韓国の事例

4件と海外の事例4件が、医学資料とともに発表された。その中でヤン・チャンギョ院長(放射線科)が乳がんのいやし事例を、ウルサン医大キム・ジュンソン小児青少年科教授がイ・ジェロク牧師の祈りを受けて視力が回復した事例を発表した(4面参照)。

医学的な助けなしに、ただ祈りを通していやされた事例が発表されるたびに、医師たちは医学の知識の枠が打ち砕かれて、神の生きておられることと全知全能であられることに驚いた。発表後には質疑応答が続き、いやされた本人が直接参加したケースもあり、目を引いた。この他に、医学と医師の霊性を調和させる多様な特別講演もあった。

チョン・ミョンホ牧師(イエス・キリスト・アフリカ連合聖潔会総会長)は閉会の辞で「現在、医師に最も必要なのはみことばです。みことばがあってこそ病人に福音を伝えて、信仰によって祈ってあげることができるからです」とみことばを武器として身につけるよう勧めた。

WCDNは超教派のキリスト教医師の団体で、毎年国際学会を開催し、神の力によるいやし事例発表とキリスト教医師としての義務と召命に関する基調講演を行っている。来年はメキシコで開催予定である。



WCDN理事長イ・ジェロク牧師のビデオメッセージ

賛美しながら喜びに満たされている参加者



ケニア学会組織委員長ングミ博士 本教会の賛美チーム、クリスタル・シンガーズの公演

WCDN会長チェ・ユンソク博士

日本支教会7月スケジュール

7月14日(土)	権能いやし聖会	別府万民教会(講師:加藤勲牧師)
7月16日(月)	リバイバル癒し聖会	舞鶴万民教会(講師:金モニカ牧師)
7月21日(土)	リバイバル癒し聖会	大阪万民教会(講師:金マルコ牧師)
7月25日(水)	権能いやし聖会	飯田万民教会(講師:柳スズキ牧師)
7月25日(水)	権能いやし聖会	松本万民教会(講師:伊藤正明牧師)
7月28日(土)	癒しの集会	名古屋万民教会(講師:時國みや子牧師)
7月29日(日)	権能いやし聖会	東京万民教会(講師:崔ビョンラン牧師)

あなたの信じたとおりになるように

∴ 堂会長イ・ジェロク牧師

「それから、イエスは百人隊長に言われた。『さあ行きなさい。あなたの信じたとおりになるように。』すると、ちょうどその時、そのしもべはいやされた。」(マタイ8:13)

患難にあつて困難に陥り、抜け出す方法がないように見えるとき、神がとても遠くにおられ、まるで自分に御顔を背けておられるように感じることもあります。ある人は「ここにいる私のことを知っておられるだろうか?」と思ったり、祈っていても「私の祈りを聞いておられるだろうか?」と疑ったりもします。全知全能の神に対する信仰が足りないのです。

ダビデは人生のあらゆる逆境を体験しましたが「たとい、私が天に上っても、そこにあなたはおられ、私がよみに床を設けても、そこにあなたはおられます。私が暁の翼をかけて、海の果てに住んでも、そこでも、あなたの御手が私を導き、あなたの右の手が私を捕らえます。」と告白しました(詩篇139:8-10)。

このように、創造主なる神は時間と空間を超えて、全宇宙万物を統べ治めておられる方です。人のほうからは世が広くて遠いだけ感じられても、神のほうからはそんなことは何の問題にもなりません。神が初めの声を発せられれば、時間と空間を超えて全世界に働かれるので、おできにならないことはありません。

〈イザヤ57:19〉に『わたしはくちびるの実を創造した者。平安あれ。遠くの者にも近くのものにも平安あれ。わたしは彼をいやそう』と【主】は仰せられる。」とあります。ここで「くちびるの実を創造する」とは、神が一度言われたことは必ず成就することを意味しています(民数23:19)。

神が発せられる初めの声

創世記1章を見れば、創造主の神は初めの声を発して、天地万物を創造されました。「光があれ。」「天の下の水が一所に集まれ。かわいた所が現れよ。」「地が植物、すなわち種を生じる草やその中に種がある実を結ぶ果樹を、種類にしたがって、地の上に芽ばえさせよ。」「光る物が天の大空にあって、昼と夜とを区別せよ。」「水には生き物が群がれ。」「鳥が地の上、天の大空を飛べ。」と命じられると、そのまま万物が創造されました。

このように、神が初めの声で創造された天地万物には初めの声が入り込んでいて、初めの声を発すれば、無生物であっても従います。それで、神の御子であるイエス様が初めの声を発せられたとき、無生物である風と波もすぐ収まり、なぎになったのです(ルカ8:24-25)。

それでは、人は初めの声を聞いて従うことができるのでしょうか? ローマの軍将百人隊長はイエス様が発せられる初めの声を聞くことができたし、その声を通して時間と空間を超えた神のみわざを体験することができました。これは百人隊長が公義にかなう信仰と従順を所有していたので可能なことでした。それでは、初めの声を聞いて、求めるものは何でも答えられるためには、具体的にどうしたらよいのでしょうか?

初めの声を聞いて答えられるためには

最初の人アダムは神のいのちの息が吹き込まれて造られたので、神のことばである真理だけを聞いて従っていました。ところで、アダムには、真理に従うのか従わないのか自分で選べる「自由意志」が与えられていました。これは神が、ロボットのようにどんなことにも服従する子どもを願われたのではないからです。

神はアダムに霊の知識である真理のみことばを教え、自ら神のことばに聞き従って、真心から神を愛する子になることを願っておられました。ところが、アダムは長い年月が過ぎると、サタンに惑わされて善悪の知識の木から取って食べ、結局、神のことばに聞き従わなくなりました。すると神が「しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるとき、あなたは必ず死ぬ。」と言われたとおり、霊が死ぬようになりました。霊が死ぬと、神が発せられる初めの声をそれ以上聞けなくなったのです。

〈ローマ6:16〉に「あなたがたはこのことを知らないのですか。あなたがたが自分の身をささげて奴隷として服従すれば、その服従する相手の奴隷であつて、あるいは罪の奴隷となつて死に至り、あるいは従順の奴隷となつて義に至るのです。」とあるように、不従順の罪を犯したアダムと彼の子孫は、罪を支配する敵である悪魔・サタンの奴隷になってしまいました。敵である悪魔・サタンが操るまま、思つて話して行い、罪に罪を加えて結局、死に向かうしかなくなったのです。

ところで、全知全能の神はアダムが罪を犯すことをすでに知っておられました。それで、世界の始まる前からイエス・キリストを備えて、時になるとこの地上に遣わしてくださいました。神の御子イエス様は人類のすべての罪を贖ういけにえとなつて死なれ、三日目に死の力を打ち砕いてよみがえり、人類の救い主になりました。

これで〈ローマ8:2〉に「なぜなら、キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです。」とあるとおり、イエス・キリストを信じる者は誰でも聖霊を受けて、救われるようにされました。聖霊を受けた神の子どもは死んでいた霊が生き返り、神の初めの声を再び聞けるようになり、信じて従うと求めるものは何でも答えられる道が開かれたのです。

良い心を持っていた百人隊長の信仰

マタイの福音書8章には、信仰によって答えられたある百人隊長が出てきます。百人隊長は当時イスラエルを支配していたローマ帝国の指揮官のひとりで、下に百人の軍人がいました。彼はイスラエルのカペナウムに派遣されて、イエス様についての噂を聞きました。イエスという方が愛と善と憐れみのみことばを教えているというのです。心の良い百人隊長は、イエス様が人にはできない驚くべき不思議とするしも現されるという噂を聞いて、そのまま信じました。

その当時、イエス様の教えや力あるわざについて、人によってその反応が違いました。自分の信仰の固い枠によって、イエス様が現される神のみわざを見ても悟れず、かえってさばいて罪に定める人がいるかと思えば、イエス様を大預言者くらいに信じて従う人もいました。一方、イエス様が神の御子として救い主の使命を果たされるためにこの地上にいられた方であることを、心から悟って信じる人もいました。もし皆さんがイエス様の時代に生きていたなら、三つのうちどれだったでしょうか?

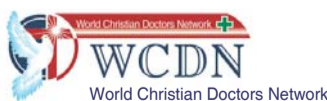
ヨハネの福音書9章で、生まれつき目が見えなかったが、イエス様に出会って見えるようになった人は「盲目に生まれついた者の目をあけた者があるなどは、昔から聞いたこともありません。も



Tel: 82-2-818-7042, 7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: ksy7042@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcntv.org
e-mail: webmaster@gcntv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

Japanese

万民 ニュース

発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
編集発行: 万民中央教会
〒152-848 韓国ソウル市クロ区クロ3ドン235-3
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048



①2003年ロシア連合大聖会 ②イ・ジェロク牧師

③病床のシンシア ④シンシアの写真の上に拍手祈禱 ⑤元気になったシンシア

⑥霊の空間を通過して出てきたトンボ ⑦初めの光 ⑧奇蹟のムアの甘い水の泉

⑨2002年インド連合大聖会 ⑩祈りを受けて歩けるようになった

⑪祈りて息子を授かったイスラエルのリュドミラ ⑫2009年イスラエル連合大聖会

しあの方が神から出ておられるのでなかったら、何もできないはずです。」と告白しました。そして、イエス様が「わたしが父におり、父がわたしにおられるとわたしが言うのを信じなさい。さもなければ、わざによって信じなさい。」と言われたとおり(ヨハネ14:11)、イエス様についてもっと知るようになると、イエス様が救い主として来られた方であることを悟って、「主よ。私は信じます。」と言って、イエス様を拝しました。

ローマの百人隊長もこのような良い心を持っていたので、神を信じるイスラエル民族でもないのに、イエス様が行われたわざを聞いてそのまま信じ、イエス様のみもとに出て来ることができたのです。

時間と空間を超えたみわざを体験した百人隊長

イエス様は百人隊長に「あなたの信じたとおりになるように。」という初めの声を発して、時間と空間を超えた神のみわざを施されました。その理由は何でしょうか？ 百人隊長はイエス様への完全な信頼があったので、何を命じられても従う心であり、特に魂への真実の愛を持っていた人でした。

マタイの福音書8章を見ると、百人隊長がみもとに来て「主よ。私のしもべが中風で、家に寝ていて、ひどく苦しんでいます。」と懇願しています。自分の親や兄弟、子どもでもないしもべの苦しみを自分の苦しみとして感じて、イエス様のみもとに来たのですから、どうしてイエス様が感動せずにおられたのでしょうか。イエス様は百人隊長に「行って、直してあげよう。」と言われます。すると「主よ。あなたを私の屋根の下にお入れする資格は、私にはありません。ただ、おことばを下さい。そうすれば、私のしもべは直ります。」と思いがけないことを言います。

百人隊長はその信仰が真実だったので、このように大胆に告白できたのです。また「と申しますのは、私も権威の下にある者ですが、私自身の下にも兵士たちがいて、そのひとりに『行け』と言えば行きますし、別の者に『来い』と言えば来ます。また、しもべに『これをせよ』と言えば、そのとおりにいたします。」と言います。イエス様はこれに驚かれ、「わたしはイスラエルのうちのだれにも、このような信仰を見たことがありません。」とほめられました。

私たちも、神のことばに「しなさい」とあることはして、「してはならない」とあることはしないで、「守りなさい」とあることは守って、「避けなさい」とあることを避けたなら、何でも大胆に求めることができます。〈第一ヨハネ3:21-22〉に「愛する者たち。もし自分の心に責められな

れば、大胆に神の御前に出ることができ、また求めるものは何でも神からいただくことができます。なぜなら、私たちが神の命令を守り、神に喜ばれることを行っているからです。」とあるからです。

時間と空間を超えた神の力あるわざ

〈詩篇19:4〉には、初めの声について「しかし、その呼び声は全地に響き渡り、そのことばは、地の果てまで届いた。」と説明しています。このように、イエス様の御口から出た初めの声も全地に響き渡り、そのおことばは地の果てまで届くので、距離の遠い近いにかかわらず、空間を超えて力が現れます。また、初めの声は時間を超えるので、一度言われたことばはなくならないで、今すぐでなくても、その人が答えられる器を備えたなら、そのことばどおりになります。

時間と空間を超えた神の力あるわざは、万民教会でも無数に現れています。韓国に来ていたパキスタンのマリア姉妹が妹の写真を持ってきて、祈りを依頼しました。その時、妹のシンシアは大腸狭窄症を伴ったセリアック病で命が危ないところでした。担当医師は、手術をしても成功する可能性が少なかったと言ったそうです。そんな状況で私はシンシアの写真に手を置いて、切に祈りました。その時からパキスタンにいたシンシアの容態が好転して、すみやかに健康を回復しました。

このような時間と空間を超えた神の力あるわざは、2003年11月、ロシアのサンクト・ペテルブルクで開かれたロシア連合大聖会でも現れました。当時、聖会の実況が12の人工衛星を通して、ロシアをはじめヨーロッパとアジア、北米と中南米にまで150以上の国に、生放送または録画放送されました。また、ロシアの四つの都市と隣の国ウクライナのキエフで、スクリーン聖会が同時に行われました。それで、家にいながらテレビで聖会に参加し、信仰によって祈りを受けた人々もいやされて、電話やEメールなどで証しを送ってきました。

たとえ同じ場所に一緒にいたのではないとしても、信仰によって霊の空間と一緒にいれば、初めの声を発するとき、同じようにみわざを体験します。神の御前に全き信仰と従順、真実の愛の行いを見せた百人隊長のように、時間と空間を超えて働かれる神の力を信じれば、求めるものは何でも答えられて、幸いな人生を歩むことができます。

1993年から2004年まで過ぎし12年間、ソウルで開催された「2週連続特別リバイバル聖会」では、毎年数多くの人がいかなる病気やあらゆる人生の問題が解決されて、救いの道に導かれました。神は

2004年でリバイバル聖会を終えるようにされましたが、これはまた新たな跳躍のためでした。神は私に霊の勉強を始めるようにされて、以前とは違う次元の霊の世界について教えてくださいました。初めはどういう意味なのかわかりませんでした。不慣れた単語も多かったのですが、神のみこころがあるのでいつかは悟れるだろうと信じて、聞き従って学んでいきました。

私は主のしもべとして召された後、神の力を授けられて多くの魂を救いの道に導こうと、ひたすら断食しながら主を呼び求めて祈りました。時には苛酷な暑さや寒さと戦いながら、十日、二十一日、四十日断食をしながら、昼も夜も神にすがりました。ところが、霊の勉強はそれとは比べられないほど厳しい訓練でした。どういう意味なのかわからないみことばを握って、それを理解するまで、まるでヤボクの渡しでのヤコブのように、切にすがって祈らなければなりません。

これとともに血肉のからだもいろいろな現象で苦しみを受けなければならなかったのです。ちょうど宇宙船に乗って大気圏を抜け出した人が、地球と違う環境で過ごすためには多くの適応訓練を受けなければならぬように、神が望まれる次元に至る過程で、いろいろと不思議な現象が現れたのです。しかし、神への愛と信仰によって毎瞬勝ち抜いていけたし、いつの間にか神の根本について、また愛と公義の法則について、多くの霊の知識が習得できました。それだけでなく、神が望まれる次元に近づくほど、授かった力も大いに加わりました。

神は終わりの時、人としては想像もできない最高の神の力によって、ご自身の摂理が成就されることを願っておられます。全世界に神の栄光を宣べ伝える救いの箱舟として大聖殿を建築し、イスラエルに福音が回帰するように働いておられるのです。2009年9月、私はイスラエルの中心部エルサレムのICC(国際コンベンションセンター)で連合大聖会を導き、「イエスがなぜ私たちの救い主であるのか」を大胆に宣べ伝えました。それだけでなく、この聖会はTBNロシア、CNLテレビ、エンラセ、GCNなどの地上波、ケーブル、衛星放送で、世界220か国以上に8言語で放送されました。

したがって、終わりの時が近づいていることを悟って花嫁の備えに努め、毎日たましいに幸いを得るようにすべての点で幸いを得る祝福を受けますように。それだけでなく、神が摂理を成し遂げられることに尊く用いられる道具になり、思いきり神に栄光を帰されますよう、主の御名によって祈ります。

神の力を体験した医師たちの告白

WCDN(世界クリスチャン医師ネットワーク: 超教派のクリスチャン医師の団体)主催で第9回国際キリスト教医学学会が「霊性と医学」というテーマで今年5月25日と26日、ケニアで開かれた。37か国400人余りの医師が参加して、神の力でいやされた事例発表と「エイズ:信仰と医術」など多様な特別講演があった。事例の一部を掲載して神に栄光を帰す。



事例研究および発表者 ヤン・チャンギウ (放射線学専門医)

私は第1,2,6回の国際キリスト教医学学会に参加して、それぞれ腰椎ヘルニア、肘関節の石灰化腱炎、頸部にできた化膿性リンパ節炎のいやし事例を発表したことがあります。共通点は、病院や薬に頼らないで、神を信じてその力による祈りを受けていやされたことです。今回の学会で発表したがんのいやし事例も、やはり手術しないでいやされました。

ハン・イノク執事は2006年の冬、右の乳房にしこりができました。2007年、レントゲン撮影と超音波組織検査の結果、2.17cm大の浸潤性乳がんが診断されました。だが創造主なる神の力を信じたので、信仰によっていやされようと、手術を始めどんな治療も受けませんでした。時間が経つほど右の乳房と腕がひどく痛みましたが、毎週、説教を聞いて高ぶり、憎しみ、つぶやき、認められなくてむなしいと思ったこと、人のせいにしたこと、神を信じる前に偶像礼拝をしたことがどれほど大きい罪なのかを悟って、徹底的に悔い改めました。そして、神が望まれる善の心に変えられようと熱心に努力しました。2009年には夢で「神の力の光が入っています」というおことばを聞いて、さらに信仰によって祈りました。

2011年6月10日、万民中央教会で開かれた特別いやし集会に参加して、堂会長イ・ジェロク牧師の祈りを受けた後、痛みがなくなって、しこりもますます小さくなりました。6月29日、再検査の結果、乳がんはなくなって、ただ小さい均質性陰影が見られると診断されました。

私はこの事例を発表するために、同じ病院で均質性陰影から三か所を組織検査するよう彼女に勧めました。その結果、がん細胞が全くなく、ただ健康な女性にしばしば見られる線維症と言われたとのことです。乳がんが完全にいやされたことが確認できました。

この事例発表が終わった後、ングミ学会組織委員長は「放射線学の専門家が、いやされる前と後の状態をレントゲン写真と組織検査の資料をもって発表したの、さらにすばらしいです」と驚きました。この他にも多くの医師から好評を博しましたが、これは乳がんが手術しないで自然治癒した事例を実際に見たことがないし、論文でも読んだことがないからです。

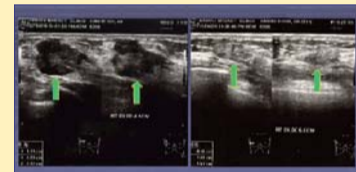
「手術しないで
乳がんがいやされた
事例は驚くべきです」



乳がんがいやされたハン・イノク執事



レントゲン写真 2cm大の結節がなくなった



超音波検査 2.17cmの分葉状非均質性低エコー結節がなくなった



事例研究および発表者 キム・ジュンソン (ウルサン大医学部小児科教授)

視力障害とは、失明を含めて裸眼視力0.3程度以下のひどい視力低下を意味します。このため、多くの人が日常生活はもちろん経済的、精神的に困難と苦痛を経験するようになります。2010年の世界保健機構(WHO)のある報告書によれば、世界で2億8千1万人余りが視力障害で苦しんでいて、その主な原因は近視、遠視、乱視など屈折力異常によるものとのことです。

私は今回の学会で視力回復の事例発表のために、統計分析を通して選別された38の医学記録と証明書を、祈りを受ける前と後に分けて比較検討しました。そのデータにより、視力回復や視力向上がただ神の力によるものだったことがわかりました。

一例を挙げれば、ハム・ジョンウク執事(32歳男性)は近視でした。16年間メガネをかけて生活してきた彼は、特別いやしの集会の前に、自分の過去を徹底的にたましいを砕いて罪を告白して悔い改め、2011年6月10日、堂会長イ・ジェロク牧師の祈りを受けました。眼科で検査した結果、右0.3、左0.5だった視力が右0.9、左1.0に回復しました。

キム・ボクイ執事(46歳女性)は近視で15年間メガネをかけていました。メガネをかけていても、ちょっと離れた所にある物がぼんやり見えて、日常生活に困っていました。しかし、2011年6月17日、堂会長イ・ジェロク牧師の祈りを受けたとき、両目が熱くなった後、すべての物がはっきり見えるようになりました。同じ眼科で検査した結果、右0.4、左0.2だった視力が右0.8、左0.8に回復しました。

最近、医学技術の発達にもかかわらず、手術や薬物治療でも直すのが難しい視力障害が、神の力によって回復した事例は実にすばらしかったです。こういう事例を集めて発表した私は、クリスチャン医師としてとてもうれしく幸せでした。すべての感謝と栄光を神様にお帰しします。

「神の力で視力が
回復した事例を
発表して幸せでした」



視力が回復したハム・ジョンウク執事(上)
キム・ボクイ執事(下)



主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

- ・イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>
- ・名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市名東区上菅 1-916
T) 052-774-8874
- ・イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771
- ・イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

- ・イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市中区百舌鳥町 5-775-15
T) 072-220-5289
<http://www.osmanmin.com/>
- ・イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23
T) 0166-53-0652
- ・イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>
- ・イエス・キリスト川崎万民教会
〒210-0818 神奈川県川崎市川崎区中瀬2丁目12-8
グリーンヴァレ 301号室
T) 044-287-7339

- ・イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003
- ・イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>
- ・岡山万民教会
〒706-0002 岡山県玉野市築港1丁目7-26
T) 0867-72-7276
- ・イエス・キリスト銚田万民教会
〒311-2102 茨城県銚田市台濁沢1080-6
T) 0291-39-9177

- ・イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740
- ・イエス・キリスト京都万民教会
〒612-8154 京都市伏見区向島津田町128-1
とりまさビル3F
T) 075-632-8201
- ・イエス・キリスト沼津万民教会
〒410-0802 静岡県沼津市土土町6第一ビル2F
T) 055-952-6861